



北海道キャンプ協会 かわら版

2013. 12. 1
北海道キャンプ協会 発行
Tel. 0134 (52) 3240

キャンプインストラクター合格おめでとう！！

松川 誠 坂本真里奈 齋藤由愛 中村哲士 森 彩花 桑原康子 千葉大樹 林亜沙希
和田祐季 高桑 愛 豊田麻美 島田裕也 國本勇紀

(敬称略、順不同)

4月～10月に行われた養成講習会にて、新たに13名の方がキャンプインストラクター試験に合格し、北海道キャンプ協会の一員になりました☆

皆さん、色々な事業に参加して北海道を盛り上げていきましょう！！

参加者より

豊田麻美(羅臼町在住・小学校教員)

私のはじめて教育キャンプと出会ったのは、大学2年生の時。今、住んでいる羅臼町で行われた野外体験指導者養成アカデミーという講座に参加したのがきっかけでした。冬の寒い雪の中でのキャンプや電気も水道もない場所でのキャンプなどのチャレンジに、自分の力や仲間との協力で乗り越えることができたという実感を味わうことのできる活動にわくわくドキドキした楽しさと人を成長させてくれることの可能性を感じました。

それから十数年余り、今もこの教育キャンプとこれらを最初に体験した羅臼町の魅力にとりつかれています。現在は、羅臼町の小学校に勤務する傍ら、地元の子ども会と教育委員会が共催するキャンプ事業のお手伝いをしたり、仲間と共に日帰り中心の野外教育事業を年に数回行うなどして活動しています。

このような実践の積み重ねが一番の糧になると思いつつもやはり、最近、このようなキャンプに関する研修を受ける機会もなく、また最近、資格の重要性も問われていることから、最新のキャンプ事情に関するお話を聞き、またキャンプインストラクターの資格を取得したいと考え、今回のキャンプインストラクター養成講習会に参加しました。

講習会の中では、多くの実践を積み重ねている講師の方々から数々のエピソードを交えた講義を受け「何のためにこの活動をするのか」ということを改めて問い直して考えたり、グループリーダーの心得として子どもへの関わり方や声かけの仕方などについて自分の今の実践をふりかえることができました。おかげさまで、キャンプインストラクターの資格も取得することができました。

また、今回の講習会の受講生は5名と少なめでしたが、わりと年齢も近く?!このようなキャンプを続けて来られた方も多かったので、講師の方も含め、同じ北海道各地に志を同じくする方たちがいるということを知り、心強く感じました。

今後は、この資格を意識しながら、キャンプの在り方や子どもたちへの関わり方などを考えて、さらに実践を続けていきます。

事業報告

北海道キャンプ協会主催 BUC 事業 「ツリークライミング&焼きイモ DayCamp」

9月1日(日)、札幌市滝野自然学園にて BUC 事業を実施しました。今回はツリークライミングと焼きイモを中心としたアウトドアクッキングをテーマに行い、参加者は学生から社会人までの13名と、一般の方からも2名のご参加をいただきました。

ツリークライミングでは、楽しく安全に木に登ることを目指し、それぞれに安全装備をして体験していただきました。皆さんコツをつかんでスイスイ登り、樹上からの景色を楽しんでいました。

アウトドアクッキングでは、ダッチオーブンでの焼きイモ&スペアリブ料理、羽釜炊はん、ジンギスカンと盛りだくさんのメニューに挑戦しました。

参加者は“あうんの呼吸”で手際よく準備をし、ホクホクの焼きイモなど、出来立



ての料理を美味しくいただきました。調理作業や食事の時間などで、参加者同士の交流が自然と生まれていたのも、まさに「キャンプのチカラ」。今回のBUC事業がコミュニケーションを図るきっかけとなり、活動の幅を広げる機会となっていたと信じています。



今回の企画は若手ミーティングで“こんなことやりたい！”の声から実現した企画です。

今後も交流を目的とした、気軽に参加できる企画を考えていきますのでご期待ください。

担当：山田啓貴（公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会）

参加者より

木田 裕加（札幌市在住）

滝野自然学園にてBUC事業【ツリークライミング&焼きイモ DayCamp】が開催されました。

私自身2度目のBUC参加となり、今回は一般参加の友人と参加致しました。13名という和やかな雰囲気の中、自然学園の裏にある山の中で初めてのツリークライミング。ちゃんと登れるだろうか？と不安な気持ちが半分でしたが、いざ体験してみると思いの外順調に登る事が出来、上から写真を撮影したりと、樹上でしか見られない景色を堪能しました。

ツリークライミングを終えた後は、スタッフの方と共に全員で昼食の用意。一人ひとりが状況を見ながらすべき事を判断し、協力して行動されており、改めてキャンプの良さを感じました。

ダッチオーブンでスペアリブのジンジャーエール煮、羽釜で炊いたご飯にジンギスカン。そしてメインの焼きイモで一足早く秋を感じ、とても贅沢な一時でした。

今後も様々な活動を体験したいと感じ、より多くの方へ活動を広めていきたいと感じる貴重な1日となりました。企画・運営をして下さった山田さんをはじめ、スタッフの皆さま、そして参加者の皆さま、ありがとうございました。

今後の事業

当会の今年度中の事業は、以下の通りです。

- ・12月23日(月・祝)
助成事業「新WILD&しめ縄づくり」体験会
→別紙参照
- ・2月16日(日)
BUC事業 内容、会場は未定
→詳細決まり次第、HPなどでお伝えします。

ミーティング開催

10月29日(火)に第3回若手ミーティングを開催しました。話の内容としてはBUC事業と5万円の助成事業の具体的な内容について話し合いをしました。

BUC事業については、もう冬ということで、冬にできるようなアクティビティを実施することと、開催場所についての話し合いがされました。

5万円の助成事業については、開催日・場所・内容と助成金をどう活用するかについて話し合いがされました。

その後はミーティングに参加したメンバーで懇親会を開催しました☆今回は楽しむというよりはミーティングの延長になってしまいましたが…笑

BUC事業、助成事業共に若手メンバーだけでの開催のためスタッフが少なく、内容に限りが出てしまいますが、精一杯頑張っていきたいと思いますので、みなさんの参加をお待ちしています。

また、少しでも興味をもった方はご連絡ください！

一緒に事業の運営に携わり盛り上げていきましょう！！

協会スタッフ募集！！

北海道キャンプ協会では一緒に協会の活動を盛り上げてくれるスタッフを募集しています。

キャンプ協会を立ち上げたスタッフも年々年を重ねており、協会スタッフの若返りをはかっていきたいと考えています。

協会の仕事に興味がある方、北海道キャンプ協会の次世代を担ってくれる方、一緒に北海道を盛り上げていきませんか？興味のある方は下記アドレスか北海道キャンプ協会のフェイスブックにご連絡ください。皆様と活動できる日を楽しみにしています！



皆様のご意見、ご要望はお気軽に…

北海道キャンプ協会

担当/安原・岩崎

〒047-0155 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ゲルッジ(特)自然教育促進会内

TEL 0134(52)3240 FAX 0134(51)5667

E-mail office@hokkaidocamp.com

URL <http://www.hokkaidocamp.com/index>